



南あわじ市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより



2023年1月 No. 170号

『ひょうご県民ボランタリー活動賞』受賞!

この度、3組のボランティアのみなさまが、これまでの功績を讃えられ、県知事表彰である「ひょうご県民ボランタリー活動賞」を受賞されました。今回の受賞は、今までの活動が実を結んだ一つの証だと思えます。

受賞
おめでとう
ございます



西 淡 C M C 様

歌が好きな人や話し好きの有志が集まり「ふれあいの心を大切に!」をモットーに活動をおられ、結成から40年となります。現在は朗読ボランティアとして、毎月市や社協の広報誌を『声の広報』として録音し、目の不自由な方や福祉施設などにお届けしています。また、高齢者施設を定期的に訪問するなど、地域の人との交流を大切にしているグループです。

※高齢により視力が低下してきて「字を読むのがおっくうになってきた方」はいませんか? 声の情報提供を行っています。「声の広報」利用しませんか?



ただいま
録音中...



平 池 啓 子 様

ふれあい・いきいきサロンの「ふれあいがた」、朗読ボランティアグループ「グリーンポエム」を立ち上げ、地域の子どもから高齢者・障がい者など誰もが地域で安心して暮らせるようにと、活動をおられます。また、『倭文子育てサポートくらぶ』を経て、「Nano 花くらぶ」の代表として、読み聞かせ、俳句教室、折紙、ウクレレ唱歌、夏まつりと色々な形で児童をはじめ地域の方々と楽しくふれあっています。

藤 江 キ ヨ コ 様

さまざまな施設や個人での傾聴ボランティアを約40年間続けておられます。デイサービスなどでは傾聴をしながらマッサージもされ、友愛訪問の際には安否確認も行っています。

利用者様からは、朗らかな人柄と気持ちのいいマッサージに身体だけでなく、傾聴してもらう事で心の癒しになるという声を聞きます。訪問時「待っていたよ」という声をかけてくれることが嬉しいそうです。



令和四年度
ひょうご
県民ボランタリー活動賞
表彰式
於 兵庫県公館一階 大会議室



佳き年を迎え皆さまのご健勝を
お慶び申し上げます
本年もよろしくお願いいたします

発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064
TEL: 44-3007 FAX: 44-3037
Eメール: info@minamiawaji-shakyo.or.jp



つながるってむずかしい？絶やさないってしんどい？

ゆるやかに長ーいお付き合いを!!

～ 3年ぶりに福祉のおまつりを、なんだん、みどりで開催しました ～

なんだん福祉まつり

終息しないコロナ禍とさまざまな災害が発生する昨今です。「地域のつながり」にまつりの焦点を当て、みんなを笑顔にという思いで「なんだん福祉まつり」を開催しました。秋晴れの下、力強い太鼓の音が響き渡り、子どもたちの演奏とダンスに目を奪われました。

つながりという意味では、野菜販売の「小屋まる」さんや「玉ねぎ染め」のグループに参加していただき、地域の活動を知ってもらう良い機会になったと思います。また、地域に花の潤いを届けてくださる「花づくり」グループや「ウインズ」「森の木ファーム」による販売も賑わいの一助となりました。

昔遊びや手話体験にも列をなして子どもたちが楽しそうに参加している様子を伺うに、地域のみなさんと集い合える場が開催されたことに感謝することしきりです😊



みどりふれあい福祉のつどい

あいにくの雨の中、倭文小学校で「ふれあい福祉のつどい」を開催しました。予報で雨が降ることは覚悟しており、悶々とした心情での開催でしたが、予想をはるかに超える人出に驚かされるやら、うれしいやら(^ω^)...

中でも群を抜いて参加者の列をなしていたのが、倭文小学校とPTAによる「お化け屋敷」でした。どうやら開催前からのうわさがあったようで、そのクオリティーの高さなるや!! コロナ禍で集うことがままならない期間を払拭した勢いでした。

そのほかにも、舞台での子どもたちの発表の場や昔遊び、折り紙などでの世代間交流が行われ、貴重なつながりの時間が持てました。



ほっこりと ちょっとええ話

みなさん、同窓会には出席されていますか？

コロナ禍で大変な時を除いて、毎年同窓会でお互いの近況を伝えあい、つながりを絶やさずにいる倭文小学校の同窓生たちがいます。今年は80歳になった年を記念して、いつも寄り集まっている喫茶店で自分たちの作品展を開催しました。市内外からたくさんの方がお越しになり、盛況のうちに終了しました。

同級生ならではのわかり合える間柄というのはいくつになっても嬉しいものですね♪

作品展
in「カフェ・レストラン・フレール」

